

ふるさと公園応援隊 かわらばん

第132号

(初刊：2011年11月6日)

発行日：2022年10月10日

発行元：ふるさと公園応援隊

編集責任者：深澤 満

初秋の強い陽射しの下で

9月の定例作業日(9/27)、

朝方は曇っていたものの、家を出る頃には陽射しがかなり強くなってきました。とは言え、秋ですね～。林の中は涼しく、女郎蜘蛛も大きくなりつつあり、彼岸花も満開で…、初秋を感じながらの作業となりました。

この日の参加者は11名+1名(集合時間前に体調不良で早退)。

林内班、9名。ゴミ拾い班、2名。



[9/27 集合写真]

林内班は、第二駐車場手前付近での作業。第二駐車場が見えはじめた事もあり、低灌木の刈り払い作業がメインで、林内整備が捗った様です。



[9/27 キッチョウソウ]

また、未整備の林内には「吉兆双(キッコウソウ)・吉祥草(キチジョウソウ)」の一群が見つかり、「今後の開花が楽しみ」とのことです。

まずは、**三浦さん**からの報告です。『気温は22度前後とさほど高くないのに、日射しが強いせいか黙っていてもじっとり汗ばむほどの陽気となった。集まったのは11人。林内班は9人、ゴミ拾い班2人に分かれてのスタートとなった。』

林内班は、刈り払い機3台、チェーンソーその他の器材を積んで、今日も前回に続き原っぱ広場から第二駐車場へ向かう右手一帯を作業地とすることにした。何時もと雰囲気が違うのは、あと残り僅かで第二駐車場という一応の区切りとなる到達点が直ぐ先に見えることだ。

それだけに期待感もあり「もう少しだ、頑張ろうか」との気概がみなぎっている様子が伝わってくる。

休憩二回を挟み、終わって見れば第二駐車場側が開け、林全体が一気に明るく開放的な景色に変わった。目標点に到達したことで皆の顔は達成感で一層明るくなったのは言うまでも無い。

この日、道端の何カ所にも拾

い集めた伐採枝が山のように積まれ、大汗をかいた皆の顔の様子からも、如何に奮闘したかが分かる。

思い起こせば、林内作業に初めて挑戦したのが2017年6月、それから足かけ5年3ヶ月かけてようやく辿り着いた到達点、暑さ寒さの季節を乗り越えよくぞここまで来たものだと思う。

着手前のあの原っぱ広場側に覆い被さった鬱蒼とした景色、林の中に入るだけでも一寸勇気が要るほどのあの暗いイメージが如何に変ったか。思い出しただけでも感慨は一塩だ。当初の頃を考えれば、我々の力でここまで到達するとは思ってもよらぬことだったし、冒険だと逡巡した当時を思い出しても、よくぞここまで頑張ったものだ。「老人力万歳!!」だ。この間携わった仲間に敬意と感謝の真を捧げたい。

当初の目標地点に達した今、この先の取り組みについては未だ決まっていない。年々齢を重ね後期高齢者の割合が多くなり体力も相応に衰えることを考えると、余り無理は出来ないだろう。老人力と若者力を視野に入れつつどのような取り組みが出来るかについて相談し決めたいと考えている。』



[9/27 林内作業-1]



[9/27 林内作業-2]



[9/27 林内にも大きなゴミが]

ゴミ拾いのコースは、東西通り～東京狭山線～開発～湿地～霊園通り～桜木神社通り(一軒家前付近まで)～中央通り。
すなわちコース記号は、イ- K- J-I-H-G-0(0')-P' -P-E-S-R-C-ロ-C-U-C-B-W- -B-L-K。
特記事項は次の通りです。
*東京狭山線のシェルター北側出口付近には、オオブタクサが大きく成長。歩道にはみ出している目立つものだけ撤去(2人ではこれが精いっぱい)。
*湿地はやや湿り気がある程度。
*霊園通り西側には、土嚢袋に入った投げ捨てゴミがあり回収!この時点で、第二駐車場へ向かうのを断念。

*桜木神社通りの2か所に土砂が投棄されており、公園課に連絡。



[9/27 霊園通りのゴミ]



[9/27 不法投棄土砂]



[9/27 ゴミ集約]



9月の第二作業日(9/13)、

時間経過と共に気温も上昇して、30℃越えの真夏日となり、ゴミ拾い組も林内組も汗をかく作業日となりました。また、季節の野草も観る事が出来て、秋の気配を感じるひと時でした。

この日の参加者は14名。林内班、10名。ゴミ拾い班、4名で作業を実施。



[9/13 集合写真]

まずは、**フミリンさん**からの報告です。『9月13日は、最高気温31度を超えるとの予報。

活動開始、10時頃からじわじわと気温上昇。そんな中でも、林の中は木陰が続き日差しが遮られて爽やかな風が心地よく感じました。

ゴミ拾い班は1年振りの参加という女性お1人(小手指のナッチャン)が加わって3人。岡野さんが写真撮影とゴミ拾いのピンチヒッターで同行してくださった。

久しぶりの参加者は、当時の感想をこう語っていました。

「ゴミの量が多くて、リヤカー1台では積み切れず、2回往復するようでした」と。確かに毎月リヤカーをお借りして、細く、凸凹の園内の道を引いて、ゴミ収集をしていました。「園内の遊歩道の整備が進んだ3~4か月前より、ぐ〜んとゴミが減ったのよ!」と話しながらゴミ袋を提げて歩き始めました。

今日もゴミがなくて、拾うことを忘れるほどでした。道々、道脇の萩の花や、赤や黄色の小さな野草に癒されながら歩きました。岡野さんが花の写真を撮り、グーグルで名前を調べてくれました。悲しいかな、今はその名前を忘れてしまいました!!書き留めればよかったあ〜、後の祭りです。

フラワー通りから右折して東京狭山線沿いに出ようとすると、ナラ枯れで倒木がキケンなため、通行止めになっていました。



[9/13 通行止め]

仕方なく左折してサッカー場へ向かいましたが、ほとんどゴミはありません。サッカー場を右折して、狭山線に戻り、ブタクサの様子を見ると、背丈ほどに伸びていましたが、引き抜くのはとても容易でした…が、深入りせずにゴミを拾いながら引き返して、牛沼開発交差点を左折して進んでいくと、コンビニ由来のゴミや車に引かれてすっかりペタンコにつぶれたアルミ缶をいくつも拾いました。道すがら彼岸花の蕾のまとまりが間もなく満開の見ごろを迎える様子。昨年同様にきっと一面の彼岸花が咲き誇って美しいことでしょう！

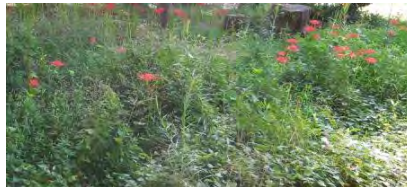
霊園通りもゴミは無い。続けて桜木神社通りへ。道路の両サイドのゴミを車に気を付けながら拾いました。ゴミ袋が徐々に膨れてきました。桜木神社手前の私有地付近の歩道で放置自転車発見?! と思いきや、掃除している高齢の男性に初めて遭遇。歩道に出たササの始末や歩道の掃除をされていました。以前のような投棄ゴミの集合地にならないように、普段の見回りと掃除を始めたように思われました。

そのまま第2駐車場まで進み、林内作業班と合流。11時半、すでに作業は終了。

近くの企業から若手数人の参加が毎回あって、高齢の私たちは大いに助けられています。継続しての参加に感謝感謝です。

猛暑の夏が過ぎようとしている今、例年より一足早く、秋の様子に早変わりする気配を感じた今日の作業でした。』

ゴミ拾い班のコース記号は、イ-K-L-F-G-O-(O')-P'-P-E-S-R-C-ロ-C-U-C-B-W-b'-b-g-A-d-N-M。



[9/13 彼岸花・咲はじめ]

次いで、**三浦さん**からの報告です。『天気予報では最高気温31度と猛暑が予測される。

8月は活動休止（※8月13日は臨時活動日）のため1ヶ月ぶりとなる。

猛烈な蒸し暑さと無風状態にもめげず14人が集まった。皆元気で安心した。林内班10人、ゴミ拾い班4人に分かれてスタートとなった。

林内班の作業地は前回に続き原っぱ広場西側角から第二駐車場に向かう右側一帯だ。

作業内容は毎回同じなのでメンバーは心得たもので、それぞれ自分の適性にあつた作業をするので、場所の特定だけで事足りる。

この日も「さあ始めようか!!」で始まり、特別な注意事項もなし。

民間企業からは、今日で延べ

人数42人目となる3人の参加があり頼もしい応援だ。

また、参加のリーダーから、「今日で社員の概ね殆どが参加したことになる」と聞いたので、私が「今後も引き続き参加してもらえるのか？」と尋ねると「勿論参加します」と心強い返事を戴いた。嬉しい限りだ。

我々の年代を補って尚余りある若い世代と一緒に活動できる機会は殆ど無いので、一緒に活動しただけでエネルギーを貰って元気になれたような気がする。古から老いては子?に從えの諺にもあるように学ぶ事も少なくない、今後も大切に連携を保って行きたいものだ。重労働な作業にも拘わらず皆嬉々として動いている姿を見て、かつて「今の若者は」なんてと偉そうに言ってきた自分を恥じる気持ちが湧くのも、こうした彼らの澁刺とした姿を見たせいかも知れない。人それぞれだが、快適さの価値基準は違うが、世代を超えた共通点は存外「自然の持つ素晴らしさ」、あるいは日本人のDNAに組み込まれている共通の感性かも知れない。

日本人が他の民族と比べ穏やかだと言われる背景には、森と共存した縄文人を先祖に持ち、世界に誇れる天皇から大御宝として大切に扱われ、{和を重んじ}平和を希求し共存して、2700年以上も長きにわたり繁栄を続けて来たこととは無縁ではないような気がする。老いと若き者が自然と対峙して共に得られる

精神的な充足感、義務感無しの無欲な活動そのものがアメニテイの源泉では？などと考えさせられたこの日の活動だった。』



[9/13 林内作業]



[9/13 ゴミ集約]

10月の作業予定

定例作業日:10月25日(火)

第二作業日:10月11日(火)

作業時間:9:30~11:30

* 作業内容:ごみ拾い・林内作業

* 持ち物:手袋、タオル、雨具、
飲み物、念のため、保険証・
お薬手帳など

荒天など天候不順の場合は、事前に中止連絡しますが、微妙な場合現地にて判断します。

判断に迷うときは、深澤まで
[090-8014-3310]連絡下さい。

年間作業予定日

10/11(火)、10/25(火:定例)、11/10(木)、11/29(火:定例)、
12/13(火)、12/20(火) 応援隊意見交換会を実施します*
1/12(木)、1/31(火:定例)、
2/14(火)、2/28(火:定例)、3/14(火)、3/28(火:定例)、
3/未定: 応援隊総会的意見交換会

* 意見交換会実施日は、現地作業は行いません。

新型コロナの予防措置として、 以下を基本とします。

- ・ 間隔をとっての行動。
(体操・作業)
- ・ マスク着用:ただし、息苦しくなったら、他から距離をとって外し、深呼吸。

夏場は、無理な着用をしない。

- ・ 作業間隔の短縮・水分補給。
- ・ 使い捨て手袋または終了直後に洗える手袋など使用(特にゴミ拾い)。

なお、石鹼・消毒用アルコールは準備しています。

- ・ 当面定例作業日の食事会の休止。

新型コロナ発生時の対応策

- ① 毎回参加者名簿(連絡先電話番号入り)を作成し、代表が保管する。
- ② 次の場合その都度、代表へ連絡する。(発信元は伏せて参加者に知らせる)
イ. 症状があり、医師から検査を指示された場合。
ロ. 検査を受けた時。
ハ. 検査結果と医師・保健所の指示
- ③ 陽性者が出た場合、求められれば、参加者名簿を保健所・公園課に提出します。

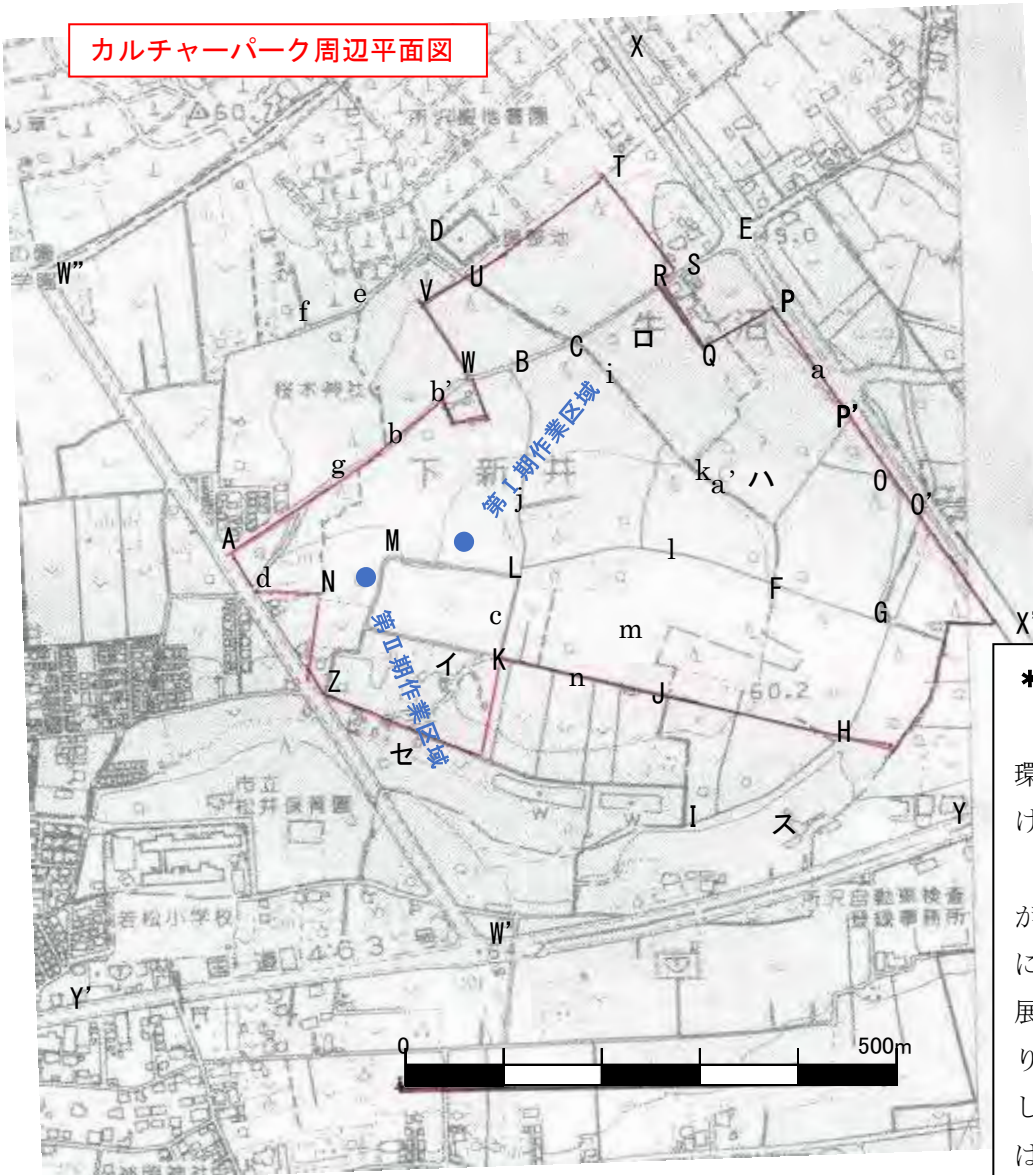
縄文時代について(一口メモ)

所沢にも縄文遺跡は多数ありますね。特に柳瀬川左岸の台地の縁辺部に多数点在しています。

縄文文化とは、最古の土器が16,500年前とされ、それ以降、灌漑水田稲作が開始される約3,000年前までの、「狩猟・採集・漁労を主な生業とし、様々な動植物利用し、土器や弓矢を使い、本格的な定住生活を始めた人々が残した文化群の総称」(山田康弘)でありこの時期を縄文時代と呼ぶとのことです。

ところで縄文人は、たいそう美食家だったとか…。例えば、ねったソハ粉にクルミや肉を入れて焼いたり…。(ミッチャン記)

カルチャーパーク周辺平面図



カルチャーパーク周辺 名称

地点名	イ	現在のデイキャンプ場
	ロ	湿地
	ハ	現在のサッカー場
	セ	特養、グループホーム
	ス	産 廃
	E	交差点「開発」
	W'	交差点「牛沼」
通り名	X-E-X'	県道東京狭山線
	W'' -A-W'	市道 カルチャーパーク通り
	Y-W' -Y'	国道
園内通り名 (仮称の たたき台です)	A-B-C-E	桜木神社通り
	D-C	霊園通り
	C-F	サッカー場通り
	B-L-K	中央通り
	L-F-G	東西通り(L-F:フラワー通り)
	G-H	東通り
	K-J-I	農道
	I-H	産廃裏通り

園内の通りの名称は仮称(たたき台)です。
皆さんからの御意見をお寄せください。

*この「応援隊」は

所沢市民大学 18期「都市の環境」講座の受講生が呼びかけて始められました。

“所沢カルチャーパーク”が、「平成 11 年度基本構想」にのっとった公園として発展・整備されるように見守り、応援してゆくことを目指し、2011 年 10 月より活動をはじめました。

定例作業は毎月最終火曜日

まずはゴミ拾いと散策から取り組んできましたが、現在は「森の再生」をも念頭に置き、作業内容も広がっています。

どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

追加の予備作業日については、「かわらばん」でお知らせします。

*お願い

「かわらばん」の発行は、定例作業日(毎月最終火曜日)の翌月 10 日となっています。

参加された皆様、写真や感想メモのあるかたは、**翌月の 5 日**までに深澤まで送ってください。よろしく。